

## “みんなの声”は、横浜市会議員 望月高徳 が承ります！

■ 望月こうとく政務活動事務所

〒224-0003 都筑区中川中央 1-24-17-2F  
(市営地下鉄センター北駅1番口よりノースポート側すぐ)

TEL&FAX : 045-532-9089

E-mail : info@khotoku.net

<http://www.khotoku.net/>



### 【当レポート発行者プロフィール】

横浜市会議員〔都筑区選出〕望月高徳(もちづきこうとく)。静岡県出身。1989年4月より横浜市在住。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。(株)野村総合研究所社員、学習塾経営、専門学校講師などを経て、2011年4月より現職〔2期目〕。

2018年度担当委員会は、政策・総務・財政常任委員会、減災対策推進特別委員会、神奈川県内広域水道企業団議会議員、民権フォーラム市会議員団〔立憲民主党〕所属。政治を志した原点は、学生時代の新聞獎学生体験。政治信条は、公正・共生・寛容。



キリトリ ×

“みんなの声”を気軽にお寄せください。ご記入日／2018年 月 日

横浜市政や区政、あるいは政治全般について、お気付きの点やご意見があれば教えてください。ご意見は上記FAX番号へ送信または上記住所へご郵送いただきますようお願いいたします。

(ふりがな) ご記入者 氏名	年齢 歳	性別 男・女
ご記入者 〒 住所		
ご連絡先 電話番号	( )	Email @

※以上の項目は、すべて任意です。可能な項目のみご記入をお願いいたします。 ※お寄せいただいた個人情報は、適正に管理いたします。

※ご連絡先のご記入のある方には、望月から回答のためご連絡を差し上げたり、市政報告会などのご案内をする場合がございます。

# もちづき 望月こうとく 市政レポート みんなの声の広場

<http://www.khotoku.net/> TEL&FAX: 045-532-9089  
E-mail: info@khotoku.net

第30号  
2018年11月10日  
発行



## Topic 平成30年第3回定例会9月11日(火)～10月26日(金) 財政局に本市の今後の財政運営を問う!

### 財政健全化への道は、 まだこれから。

平成30年10月25日(木)に、財政局に関連する平成29年度分の決算について審査するために設けられた特別委員会の質疑に立ちました。財政局とは、市民からお預かりした税金などの本市全体のお金の出し入れを管理する部局、いわば“本市のお財布をマネージメントする部署”です。今回、私は、本市の新中期4か年計画〔2018～2021〕の財政見通しにおける市債発行や借入金残高の考え方などを、少子高齢化が進む社会状況の中でも問題がないかどうかの点を重視し、提言を交えて質疑を行いました。

本市は、平成29年度決算ベースで一般会計自体の借入金残高つまり借金は、約2兆5千億円となります。加えて一般会計が対応する予定の借入金残高は、約3兆2千億円弱、企業会計や特別会計あるいは外郭団体のものもすべて合わせれば、約4兆4千億円強の借入金があります。

現市長による市政運営になってこの夏で10年目にに入りました。本市の借入金残高は、2000年頃の最悪時からは改善したとはいえ、**ここ5年程は数値的には、さして改善していません。そして今後4年間もほぼ横ば**

**い状態となる見込みです。**私は、この点を非常に危惧しております。毎年、財政当局に改善努力を促していますが、今回の質疑でも特に問題点として指摘しました。

### 本市もいよいよ人口減少社会へ。

本市の人口将来推計では、2019年度を境に人口は頭打ちになり、2025年頃から明らかな減少になると予測しています。そして65歳以上の人口は、**ピーク時には3人に1人の割合に増加**していくと考えられています。つまり完全な少子高齢化社会、生産年齢の減少社会の到来です。税収増(特に自然増収)は、トレンドとして見込めない時代の到来です。〈次ページへ→〉



望月 高徳 委員

▲財政局審査より

## あれかこれかの優先順位付けができる議員であり続けます。

財政当局には、本市の置かれた状況を十分認識し重く受け止め、責任ある財政運営を行ってもらわなければいけません。**我われ議会・議員側も、施策選択の優先順位付けを行わず、無責任・野放図に必要なないものまで予算付けを求める事は、厳に戒めなければいけない**と考えています。しかし、その当然の緊張感、緊迫感を持って、行政に向かい合っている議員ばかりでないと私は感じています。だからこそ私は、財政的裏付けを常に考え、あれかこれかの優先順位付けができる議員、責任ある施策提言をする議員でありたいと思っています。そして今が良ければではなく、**できるだけ将来世代の施策選択の自由を残してあげたい**と考えています。

以上の考えに立って、今回の質疑では、私は現在や将来の本市の借入金残高の方向性を提言し、あるいは

### 3会計と一般会計が対応する借入金残高とは

本市では、市民からお預かりした税金その他のお金の出し入れを3つの財布に分けています。それが一般会計、特別会計(例:国民健康保険事業)、公営企業会計(例:水道事業)です。こうした会計が、施策や事業をする上で積み重ねた借入金は、外郭団体分も含めると平成29年度決算ベースで約4兆4千億円強となります。この借金のうち、市税で返済することとしているものが、一般会計が対応する借入金残高となります。現在、約3兆2千億円弱となっています。残りの借金は、各会計の事業収入などで返済することになります。

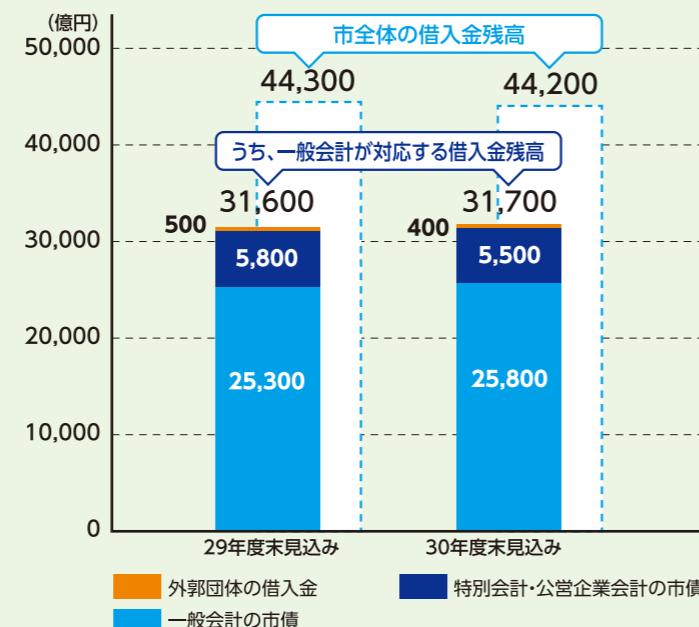
## わが身が体験して改めて実感! バリアフリー、ユニバーサルデザインの街づくり強化へ

去る10月4日に、私ごととなりますが肉離れを起してしまい、人生初の松葉杖生活を経験しました。負傷して以来、会合や祭り、各種イベントに参加した際、多くの区民の皆さんに、私のことを心配して頂いたり、お気遣い、ご配慮頂いたことを心から感謝申し上げます。

私は、これまで自分なりには、高齢者や障害者(児)などの社会的配慮を要する方への施策の充実に取り組んできましたつもりでした。しかし街づくり一つとっても、松葉杖生活をして初めて、まだまだバリアフリーやユニバーサルデ

は本市財政状況の市民への分かりやすい周知と情報の共有などを求めました。質疑は、市会HPからご覧いただくことができます。

市全体の借入金残高と一般会計が対応する借入金残高の内訳



ザインの推進を図らなければいけないことを実感しました。また推進する際は、当事者の声をよく聞き、生かしていくことが肝要だと改めて感じました。今回の体験を今後の議員活動に生かしてまいります。



▲地域のイベントの際に撮影

## 2019年度予算要望・提言書を市長に提出!!

毎年9月から10月にかけて開かれる定例会の大きな議題は、前年度の決算審査ですが、行政内部的には既に次年度予算案の作成が始まっています。12月に素案、1月下旬には、予算原案が示されることになります。私たち議員は、そうした予算作成の流れに合わせて、例年6月～7月にかけて市民や各種団体のご意見を伺い、会派内で8月に意見集約を図り、9月に次年度予算案の編成に先立つての会派としての予算要望・提言を市長に行っています。今回は、私は会派政調会長として、9月26日に市長に対して、10の重点項目を含む市や区に関する400以上の項目からなる要望・提言書を提出しました。



▲予算要望・提言書提出時に撮影



▲市長に重点事項を説明する望月

## 市に関する要望・提言(重点項目)の一部抜粋

### 例) カジノは横浜に似つかわしくないので

『カジノについては、港湾事業者・多くの市民が反対の姿勢を示すことを重く受け止め、国の施策に引きずられることなく、導入しないこと。また、導入しないとする本市の考えを、早期に市民に明らかにすること。』

## 都筑区に関する要望・提言の一部抜粋

### 例1) 皆さんのが待ち望む 区民文化センターの設置だからこそ

『区民文化センターの建設に際して、区民とりわけ周辺地域住民の意向を十分把握し、区民文化センター部分を含む土地全体の将来的な活用象を明らかにしていくこと。また隣接区域の生活環境の改善・向上、当該地の利便性確保の両立の観点に立ち、周辺区域と当該地との交通導線計画を立案し、早期に提示していくこと。』



▲早瀬川をセンター橋から上流に向かって撮影

### 例2) 各地で多発する豪雨災害に備え

『区内にある鶴見川水系の河川流域で、一定の雨量想定時の水害が心配される地域の住民や事業者に対して、改めて、そのリスクについて啓発を行うこと。また定期的な浚渫等の適切な管理が出来ていない河川状況を、県などの関係機関に協力に働きかけ、早期に改善に努めること。』

上記以外にも、区民の声を基に、都筑ふれあいの丘駅前付近への交番の設置の具体的な検討が始まるように県や警察への強力な働き掛けを行うことや、荏田南地区へのコミュニティハウスのような地域活動拠点の設置など19項目の要望を提出しました。